

泉区ボランティアセンター通信

かわら版～初秋～



ボランティアについての あれこれ

お話聞かせて！ボランティアさん！

新型コロナウイルス感染症の影響が続くなかでも、新たにボランティアを始めたいという声が多く届いています。そのような皆さんが一步踏み出すきっかけが作れたらと思い、先輩ボランティアはどんなきっかけで活動を始めたのか、どんな思いで活動しているのかインタビューしました。

今回は「スコップ泉」で10年以上ボランティアをされているKさんにお話を伺いました！



○スコップでボランティアを始めたきっかけは？

私生活で悲しいことがあり落ち込んでいたとき、ボランティアとしてスコップへ来るようになりました。通所者、職員の明るさや温かさに助けられ、元気を出すことができました。

○どんな活動をしていますか？

始めは別の活動のお手伝いをしていましたが、現在は趣味で続けていた刺繍を通所者と楽しんでいます。通所者が上達する姿は嬉しいです。通所者の家族からも、休日に楽しめる趣味ができて嬉しいとの声がありました。

○障がいのある方とのかかわりについて

当然一人一人得意なことや好みは違います。障がいがあってもなくても、その違いを互いに受け入れ、寄り添うことが大切だと感じます。

○ボランティアを始める方に一言！

ボランティアは「してあげる」ではなく、もらうものの方が多いと感じます。人との輪が広がり、若さや元気をもらえます。ボランティアは素敵な時間の使い方です。生活が充実するので、シニアの方にもおすすめです。

通所者の
皆さんと
一緒に作った
刺繍の作品

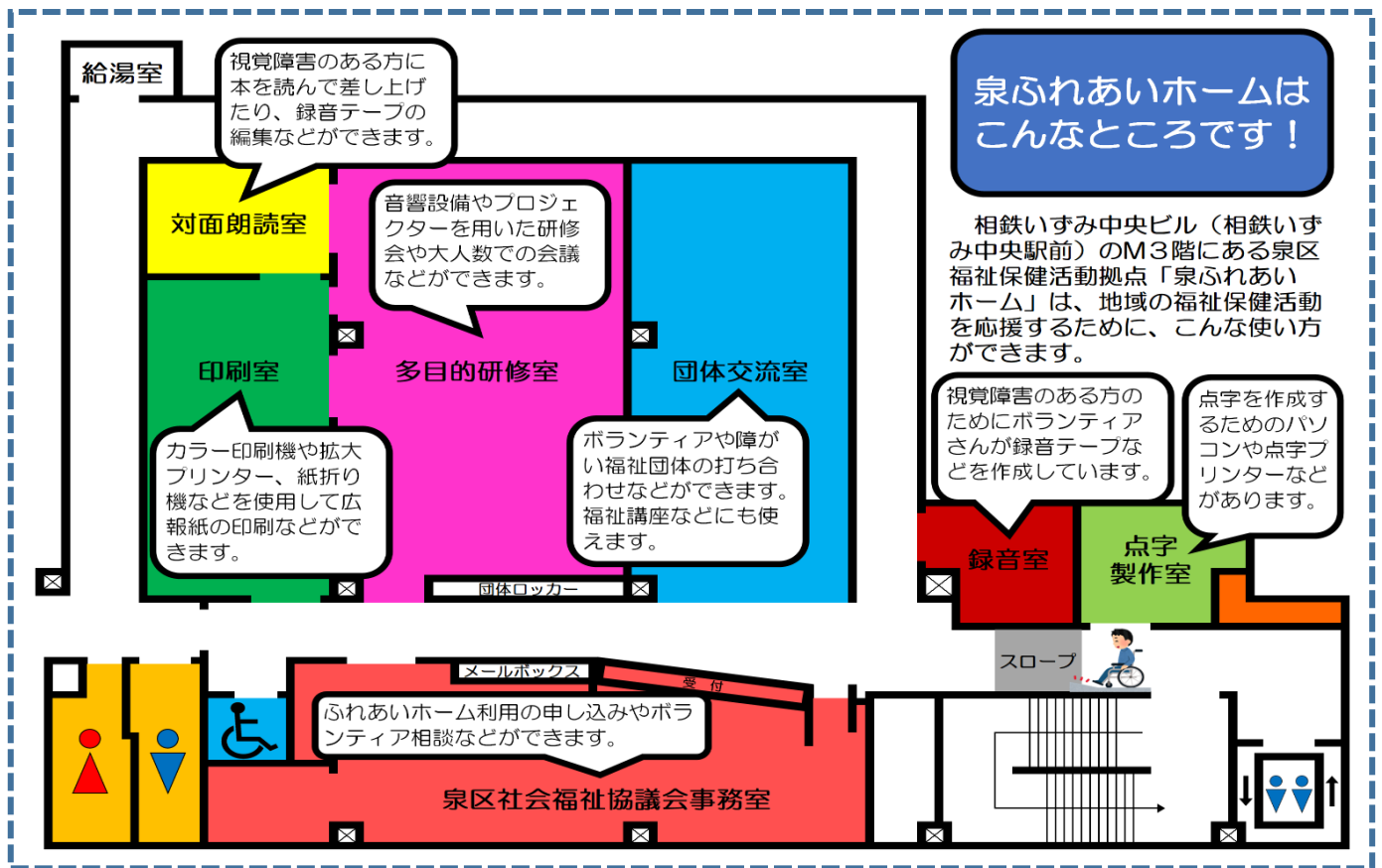


スコップ統括所長より

ボランティアが来てくれることで、支援者である職員とは違う視点が入ります。またボランティアとの交流で、通所者の人間関係が広がるのです。刺繍が得意なKさんが来てくれたことで、スコップでも新しいことに取り組めるようになりました。

※「スコップ泉」は刺繍や農作業等を通じて、障がいのある人が社会参加をする場所です。こうした活動以外にも、地域の移動販売に参画し、スコップで育てた野菜の販売のほか、通所者が高齢者の買い物の荷物をご自宅まで運ぶお手伝いをしています。通所者と地域の方が一緒に楽しみながら、移動販売を盛り上げています。





障がいのある人のボランティア活動にご協力ください！ ～ガイドボランティアの募集～



泉区社会福祉協議会では、障がいがある人の通学や施設等への通所、余暇などの外出に付き添うガイドボランティアを募集しています。障害のある人とのかかわりが初めてでも、皆様のご心配な点について丁寧にフォローいたします。また、秋には、ガイドボランティア向けの入門講座を企画いたします。皆さんの日々の少しの時間を障がいのある人の支援に役立ててみませんか？

ガイドボランティアに関心のある方は、泉区社会福祉協議会までご連絡ください。是非、皆さんのできる範囲でのご協力をお願いいたします。

タオル・毛糸の寄付へのご協力ありがとうございました！

皆様からご寄付いただいたタオル・毛糸は、善意銀行を通じて区内の必要としている施設に寄付させていただきました。大変多くのご協力をいただき、ありがとうございます。タオルは引き続き回収を続けておりますので、ご自宅に不要なタオル（未使用のもの）がございましたらぜひ泉ふれあいホームまでお持ちください！



▽お問い合わせ：泉区ボランティアセンター（横浜市泉区社会福祉協議会内）
横浜市泉区和泉中央南 5-4-13 泉ふれあいホーム内(相鉄いずみ野線「いずみ中央」駅前・相鉄ライフM3階)
電話:045-802-2150 FAX:045-804-6042
Email : izumiku01@yokohamashakyo.jp